

整備事業評価書

(都道府県名:長崎県)

| 政策目的 | 事業実施地区数ア | 評価対象外地区数イ | 評価対象地区数アイ | 成果目標の平均達成率 | 評価対象地区数のうち、都道府県が事業実施主体へ改善指導を必要とした地区数 | 地方農政局等から都道府県計画の改善指導の必要の有無 | 都道府県による総合所見 | 地方農政局等による総合所見 |
|----------|----------|-----------|-----------|------------|--------------------------------------|---------------------------|---|--|
| 産地競争力の強化 | 4 | 0 | 4 | 74.8% | 2 | 有 | <p>・本県において、本年度の事業評価の対象となったのは4地区であり、成果目標は達成率74.8%で目標未達成となった。</p> <p>・内訳をみると2つある成果目標を両方ともに達成した地区は2地区、未達成であった地区は2地区であった。</p> <p>・成果目標が未達成となった地区の主な要因等は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による業務需要の低迷や気象条件などの要因により秀品率・ブランド品率が低下したことであった。</p> <p>・なお、成果目標が未達成の事業実施主体については、生産量を確保するとともに品質を向上するために、県、市、農協等の関係機関が連携して栽培技術支援を行い目標達成に向けた取組を推進していく。</p> | <p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し、74.8%であり、目標は達成されていない。このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成地区に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。なお、長崎県が改善指導を必要とした地区(達成率90%未満)については、以下の2地区である。</p> <p><参考:成果目標未達成地区の概要></p> <p>【野菜】1地区</p> <p>・「秀品割合の増加」及び「ブランド野菜割合の増加」を目標に、トマトの低コスト耐候性ハウスを整備した1地区について、低温期の日照不足により着色の遅れや玉肥大不足が発生し、秀品・ブランド品となるトマトの割合が低く、いずれの成果目標も未達成となった。</p> <p>【花き】1地区</p> <p>・「上位規格の割合の増加」及び「全出荷量に占める契約取引の割合の増加」を目標に、花(ガーベラ)の低コスト耐候性ハウスを整備した1地区について立枯れの発生により出荷本数及び上位規格品の本数が減少し、「上位規格の割合の増加」が目標未達成となった。</p> |